

■ 許容電流

皆さんはテーブルタップ(延長コード)に幾つかの機械を繋げることがあると思います。繋がれた機械は、機械の裏などに表示されている「消費電力」を使いながら、それぞれ仕事を始めます。テーブルタップはただひたすらに電気を送り続けるのですが、限界もあります。近くにあるテーブルタップを見て欲しいのですが、「OOV OOA」などと書かれています。ここで重要なのは「OOA」(テーブルタップの許容電流)です。

ちょっと皆さんの嫌いそうな分野に入りますが、1つ計算式を…。

$$\text{電力 } W(\text{ワット}) = \text{電圧 } V(\text{ボルト}) \times \text{電流 } A(\text{アンペア}) \rightarrow A = W / V$$

大抵の場合、コンセントの電圧は100Vです。なので、機械に書いてある消費電力を100で割ると、その機械が使う電流が分かります。

さてここまできたら、テーブルタップに繋がっている機械が使う電流の合計と、テーブルタップに書かれているOOAを比べてみて下さい。もし機械が使う電流の方が大きければ「電圧低下」などのアラームが出てしまいますし、それだけではありません。

最悪の場合、限界を超えたテーブルタップから熱が発生し、近くの燃えやすい物に火がつき、火災が発生する危険性もあります。テーブルタップの許容電流、どの機械がどれくらいの電流を使うのか、一度調べてみるとトラブルも未然に防げるかもしれません。

